

2027年度 4月入学

九州工業大学大学院生命体工学研究科
博士前期課程 学生募集要項

高等専門学校推薦選抜

「付表 主要教育研究分野別一覧」(教員一覧)は
2026年3月中に本学生募集要項にて公開予定です。

国立大学法人九州工業大学
大学院生命体工学研究科

※変更が生じた場合は、以下のホームページでお知らせいたします。

| | |
|----------------|---|
| 九州工業大学ホームページ | https://www.kyutech.ac.jp/ |
| 生命体工学研究科ホームページ | https://www.lsse.kyutech.ac.jp/ |

2027年度4月入学・2026年度10月入学試験日程

【推薦選抜 Admissions on Recommendation】

【高等専門学校推薦選抜 Admissions on Recommendation for Technical College Students】

【一般選抜 Admissions for General Applicants】

【社会人特別選抜 Special Admissions for Adult Students】

【外国人留学生特別選抜 Special Admissions for International Students】

| | 事前出願資格審査 申請期間 Application Period for Screening | 願書出願期間 Application Period | 選 抜 日 Examination Date | 合格者発表日 Announcement of Successful Applicants Date |
|---|--|---------------------------------------|--|--|
| 第1回入学試験 The 1st selection 【推薦選抜】 【高等専門学校推薦選抜】 【社会人特別選抜】 【外国人留学生特別選抜】 | 2026年4月30日(木) ↓ 2026年5月11日(月) ※ | 2026年5月28日(木) ↓ 2026年6月4日(木) | 2026年7月4日(土) 2026年7月5日(日) のうち一日 | 2026年7月14日(火) |
| 第2回入学試験 The 2nd selection 【一般選抜：筆答試験】 【社会人特別選抜】 【外国人留学生特別選抜】 | 2026年7月6日(月) ↓ 2026年7月10日(金) | 2026年7月30日(木) ↓ 2026年8月5日(水) | 2026年8月29日(土) 2026年8月30日(日) のうち一日・ 一般選抜は、両日 | 2026年9月7日(月) |
| 第3回入学試験 The 3rd selection 【一般選抜：口述試験】 【社会人特別選抜】 【外国人留学生特別選抜】 | 2026年8月17日(月) ↓ 2026年8月21日(金) | 2026年9月11日(金) ↓ 2026年9月18日(金) | 2026年10月10日(土) 2026年10月11日(日) のうち一日 | 2026年10月16日(金) |
| 第4回入学試験 The 4th selection 【社会人特別選抜】 【外国人留学生特別選抜】 | 2026年11月13日(金) ↓ 2026年11月19日(木) | 2026年12月10日(木) ↓ 2026年12月17日(木) | 2027年1月23日(土) | 2027年1月29日(金) |

※ 第1回入学試験の事前出願資格審査は【社会人特別選抜】及び【外国人留学生特別選抜】のみ対象です。

＜注意事項＞

- 【高等専門学校推薦選抜】は出願に先立ち、適性審査を行います。詳細は募集要項をご確認ください。
(一連のスケジュールは補足資料を参照ください。)
- 選抜日の詳細は、各回・選抜の募集要項をご確認ください。
- 2026年度10月入学試験は、第1回(高等専門学校推薦選抜を除く)及び第2回で実施します。
- 定員を満たした場合、以降の募集は行わない場合があります。
- インターネット出願登録期間は各回募集要項をご確認ください。

必ずお読みください

※本学生募集要項に関して、追加事項等がある場合、本学ホームページにて随時周知しますので、
出願前によく確認してください。

※2027年度4月入学・2026年度10月入学大学院生命体工学研究科博士前期課程の学生募集に関して、予告する事項がある場合、本学ホームページにて随時周知します。

九州工業大学ホームページ <https://www.kyutech.ac.jp>

目 次

| | | |
|-----|-------------------------|----|
| I | 高等専門学校推薦選抜 (2027年度4月入学) | |
| 1. | 募集人員 | 1 |
| 2. | 出願資格 | 1 |
| 3. | 適性審査 | 1 |
| 4. | 適性審査書類 | 2 |
| 5. | 適性審査の方法 | 3 |
| 6. | 適性審査に関する注意事項 | 3 |
| 7. | 適性審査結果のお知らせ | 3 |
| 8. | インターネットを利用した出願手続き及び出願期間 | 3 |
| 9. | 出願上の注意事項 | 6 |
| 10. | 受験票について | 7 |
| 11. | 選抜方法及び合否判定方法・基準 | 7 |
| 12. | 面接試験の日時・方法 | 7 |
| 13. | 受験上の注意事項 | 7 |
| 14. | 合格者の発表 | 8 |
| 15. | 入学手続 | 8 |
| 16. | 個人情報の取扱い | 9 |
| 17. | 奨学金について | 9 |
| 18. | 安全保障輸出管理について | 9 |
| 19. | キャンパス全面禁煙について | 9 |
| 20. | 留学生のための特別コースについて | 9 |
| II | 大学院博士前期課程アドミッション・ポリシー | 10 |
| III | カーロボAI連携大学院について | 14 |
| IV | 長期履修制度について | 15 |
| 付表 | 主要教育研究分野別一覧 | |
| 1. | 生命体工学専攻 | 16 |

I 高等専門学校推薦選抜（2027年度4月入学）

1. 募集人員

| 専攻名 | 募集人員 |
|-------|---------------|
| | 2027年 4月入学 |
| 生命体工学 | 15 |

2. 出願資格

次の（1）～（3）の全てに該当する者。

- (1) 高等専門学校専攻科に在籍し、2027年3月31日までに大学改革支援・学位授与機構又は学校教育法第83条第1項に定める大学から学士の学位を授与される見込みの者
- (2) 合格した場合に入学を確約できる者
- (3) 下記の適性審査の結果、出願を許可された者

3. 適性審査

高等専門学校推薦選抜では、出願に先立ち、以下のとおり適性審査を行います。

なお、適性審査には検定料は不要です。

- (1) 適性審査申請期間

2026年4月6日（月）～4月10日（金）

- (2) 適性審査書類

次の4.に掲げるすべての書類を、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に入れて、申請期間内（必着）に下記宛先へ速達簡易書留郵便にて郵送又は持参してください。

〒808-0196 福岡県北九州市若松区ひびきの2-4

九州工業大学大学院生命体工学研究科事務課教務・入試係

- ・郵送の場合は、申請期間内に郵送されたもので、本学に到着した分を受理します（申請期間内必着）。
- ・持参の場合、受付時間は午前9時から午後4時までです。
- ・次の4.に掲げるすべての書類が期限までに、すべて不備なく本学に到着したことをもって、申請は受理されます。

4. 適性審査書類

次に掲げる書類等を一括取り揃え、所定の期日までに生命体工学研究科事務課教務・入試係へ提出してください。複数枚ある書類はホチキス留めせずに、クリップでまとめてください。片面印刷推奨

| 申請書類等 | 備 考 |
|--|---|
| ①適性審査申請書 (顔写真貼付) ※顔写真是、適性審査時の本人確認に使用します。 | 本学所定の様式を用い作成すること。Word等のワープロソフトを用いて記入し、印刷したものに、以下の条件を満たす顔写真を貼り付けること。 1. 上半身・無帽・正面向きで、3ヶ月以内に単身撮影したもの 2. 縦4.5cm×横3.5cmのもの 3. 画像が鮮明であること |
| ②成績証明書 | 高等専門学校長が発行したもの。 ※本科と専攻科の両方を提出してください。 |
| ③推薦書 | 本学所定の様式を用い、高等専門学校長、専攻科長又は、指導教員が作成したもので、押印が必要です。 ※自己推薦書は申請書類として認めません。 |
| ④小論文 | 本学所定の様式を用い作成すること。下記のテーマについて、Word等のワープロソフトを用いて、テーマ1・2合わせて日本語2,000字程度又は英語1,200ワード程度で横書き、10~11ポイント程度のフォントを使用し、記述すること（印刷した際に文字化けがないよう留意すること。） <テーマ> 1 「これまでの修学内容（卒業研究等）について」 2 「生命体工学研究科において取り組みたい研究分野・課題について」 <作成にあたっての留意事項> 1. 2枚とも必ず「氏名」を記入すること。 2. 和文・英文いずれも可。 3. 図表を使うことも可。 4. 図表等すべて含めて、所定様式内にまとめること。 5. 補足資料添付不可。 6. テーマ2に関して、⑤エントリーシートの関心の高い研究室（第1~第3順位）それぞれについて、テーマに沿って記入すること。 |
| ⑤エントリーシート | 本学所定の様式を用いて、Word等のワープロソフトを用いて以下について記入すること。 ① 関心の高い研究室（関心の高い順に教員名を3名まで記入すること。教員名はフルネームで記入すること。研究室訪問等すでに個別に面談をしたことがある場合は、「面談」の欄に○を付すこと。なお、第1順位に挙げる教員との面談を必須とする。第1順位に挙げる |

| | |
|--|---|
| | <p>教員との面談では、入学後の研究内容等について必ず相談すること)</p> <p>② これまでに履修した授業のうち、得意な専門科目（3科目）</p> <p>③ 本学博士前期課程修了後のキャリア目標</p> |
|--|---|

※ 小論文等は必ず志願者本人が作成してください。志願者以外の者（生成AIを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、合格発表後でも合格を取り消すことがあります。

5. 適性審査の方法

提出書類及び面談（研究マッチング）により、本研究科における研究推進能力等を審査します。面談は、適性審査期間中にZoom等を用いて、個別に遠隔にて行います。

なお、面談日時等の詳細については、2026年4月24日（金）に、適性審査申請書に記載いただいたメールアドレスへ連絡します。「13. 受験上の注意事項」を参考にして、面談を受ける環境の準備をしてください。

適性審査期間 2026年5月7日（木）～5月15日（金）（土・日・祝日は除く）

6. 適性審査に関する注意事項

（1）適性審査書類作成や研究マッチングのために、事前に、本研究科が実施するインターンシップや研究室訪問等へ参加することを推奨します。なお、参加方法等の詳細については、生命体工学研究科のホームページ（<https://www.lsse.kyutech.ac.jp/>）を確認してください。

※適性審査書類「エントリーシート」の回答項目「関心の高い研究室」で第1順位に挙げる教員との面談は必須です。

（2）身体等に障がいがあり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、申請開始の21日前までに教務・入試係〔電話：093-695-6006、E-mail：sei-nyushi@jimu.kyutech.ac.jp〕に相談してください。なお、期限後に受験及び修学上特別な配慮を必要となった場合にも、必ず相談してください。

【本学が許可・対応可能な配慮の例】

- ・補聴器又は人口内耳の装用（コードを含む。）
- ・画面共有やチャットを活用して視覚的に補完する
- ・画面に表示する内容がある場合に音声で説明する

7. 適性審査結果のお知らせ

適性審査の結果は、2026年5月22日（金）に、適性審査申請書に記載いただいたメールアドレスへお知らせします。適性審査の結果、出願を許可された場合、「8. 以降に記載する出願手続き」を出願期間内に行って下さい。出願しない場合、出願辞退として取り扱います。

8. インターネットを利用した出願手続き及び出願期間

募集要項の出願資格、出願期間、出願手続、選抜方法及び試験日等をすべて確認した後のインターネットを利用した出願手続の流れは、次のとおりです。

①出願情報の登録

インターネットに接続している端末（以下「端末」という。）から、画面の指示に従って、登録内容（試験区分、志望専攻・分野、希望指導教員（注2）、個人情報等）を入力します。

②出願情報の確認・修正（該当者のみ）

登録した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷で組みます。

③入学検定料の支払い

入学検定料の支払方法に従つて、検定料30,000円を支払います。※別途払込サービス利用料が必要です。
【支払い方法】クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行ATM（ペイジー）、ネットバンキング

④出願登録内容の印刷

「志願内容確認票（提出用）」など、インターネット出願登録内容（提出書類の一部）を印刷します。

⑤提出書類の郵送又は持参

「インターネット出願登録内容の印刷物（④で印刷したもの）」と「その他必要書類」を出願期間内に、九州工業大学の窓口まで郵送又は持参することで、出願手続完了となります。

（注1）インターネットを利用した出願手続において、インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。

ア インターネット出願登録を開始するためのパスワードが必要です。パスワードは、適性審査結果をお知らせする時に通知します。なお、次に該当する者は、出願することが確定した段階で、必ず生命体工学研究科事務課教務・入試係（sei-nyushi@jimu.kyutech.ac.jp）に電子メールで連絡し、入学検定料免除用のパスワードを取得してください。

- ・ 本学が指定する自然災害の被災者で、入学検定料の免除申請を行ったもの
- ※ 電子メールで連絡する際は、「志願者氏名」、「試験区分（高専推薦選抜）」、「希望指導教員」を電子メールの本文に必ず記載してください。
- ※ メールのタイトルは「インターネット出願登録入学検定料免除用パスワード請求」として送信してください。
- ※ パスワード取得の電子メール受付時間は、午前8時30分から午後5時までです。

ただし、土・日・祝日及び大学の休業日は除きます。

イ 入学検定料の支払い方法を確認してください。コンビニエンスストア、銀行ATM（ペイジー）、クレジットカード及びネットバンキングのいずれかでお支払いが可能です。

ウ 電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に、インターネット出願登録完了等のメールを配信します。）

エ A4サイズの用紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要となります。印刷用紙は普通紙で構いません。（インターネット出願登録内容等を印刷することになります。）

オ 以下に記載する「（2）提出書類」のうち、「その他必要書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要する場合があります。

（注2）適性審査結果に従い、希望指導教員（配属希望研究室）を入力してください。第2希望まで入力が可能です。

本研究科に入学を志願する者は、次の（1）～（5）により、手続きを行ってください。

（1）インターネットを利用した出願情報等の登録

インターネットを利用して、①出願情報の登録、②出願情報の確認・修正（該当者のみ）、③入学検定料30,000円（別途、要払込サービス利用料）の支払い、④出願登録内容の印刷を行ってください。

なお、インターネット出願登録の手順は、下記URL<インターネット出願登録サイト>に掲載されているとおりです。

※ インターネット出願登録後、「（2）提出書類」を郵送又は持参することで、出願完了となります。「（3）出願期間内」に提出書類の郵送（必着）又は持参がない場合、出願未完了（登録データは無効）となりますので、注意してください。

※ インターネット出願登録内容の変更については、入学検定料を支払い、提出書類を郵送又は持参した後は、出願登録内容の変更はできません。

（入学検定料のお支払い方法確認画面の「登録」ボタンを押す前であれば、インターネット出願登録サイトにて、志願者自身で変更できます。また、「登録」ボタンを押した後でも、入学検定料を支払う前であれば、再度出願登録を行うことで、変更できます。なお、入学検定料を支払った後で、提出書類を郵送又は持参する前に変更を希望する場合は、インターネット出願登録後に印刷した「志願内容確認票（提出用）」のチェック欄を確認してください。）

※ その他、入学検定料の支払い方法、インターネット出願登録に関するよくある質問など詳細については、下記<インターネット出願登録サイト>をご覧ください。インターネット出願登録マニュアルも<インターネット出願登録サイト>に掲載しています。

<インターネット出願登録サイト>

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html>

（2）提出書類

インターネット出願登録完了後、次に掲げる書類等を一括取り揃え、所定の期日までに生命体工学科研究科事務課教務・入試係へ提出してください。

| 出願書類等 | 注意事項 |
|-----------------------------------|--|
| 顔写真データ <u>※郵送または持参による提出は不可</u> | 次の条件を満たす顔写真データを、インターネット出願登録時にアップロードしてください。 ・カラー写真（白黒不可）、無背景、無帽、上半身・単身正面 向きで3ヶ月以内に撮影したもの ・形式はJPEG/PNGのいずれか ・ファイルサイズは100KB以上5MB以下 |
| ①志願内容確認票（提出用） ②宛名ラベル | インターネット出願登録後、印刷したもの |
| | 提出書類を郵送する場合は、インターネット出願登録後、印刷したものを、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付けてください。 |

| | | |
|---------|-----------------------------------|--|
| その他必要書類 | ③専攻科修了見込証明書 | 高等専門学校長が作成したもの（原本）を提出してください。 |
| | ④学士の学位授与申請（予定）証明書 又は卒業（見込）証明書 | 高等専門学校長が作成した大学改革支援・学位授与機構に学士の学位授与申請予定であることの証明書の原本），又は出願資格を満たす大学等の卒業（見込）証明書（専攻科修了見込証明書ではありません。）を提出してください。 |
| | ⑤在留資格証明書（査証手続きの済んだもの）の写し，又は住民票の写し | 外国人志願者のみ提出してください。 |
| | ⑥パスポートの写し | 外国人志願者のみ提出してください。 |

（3）出願期間及びインターネット出願登録期間

出願期間（提出書類受付期間）は、次のとおりです。

2026年5月28日（木）～6月4日（木）必着

※ ただし、インターネット出願登録期間は、「2026年5月25日（月）9時～6月4日（木）16時まで」としており、事前に登録可能です。

なお、インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。（出願期間内に提出書類を郵送（必着）又は持参することで完了します。）

（4）提出先

〒808-0196 北九州市若松区ひびきの2番4号
九州工業大学大学院生命体工学研究科事務課教務・入試係
電話 093-695-6006

（5）提出方法

・郵送の場合

市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願登録完了後に印刷した宛名ラベルを貼り付け、提出書類を入れて、「速達簡易書留郵便」で郵送してください。

出願期間内に本研究科に到着した分を受理します。（出願期間内必着）

・持参の場合

上述「（4）提出先」に提出してください。（※2026年6月4日（木）16時まで）

なお、受付時間は午前9時から午後4時までです。ただし、土・日・祝日は除きます。

9. 出願上の注意事項

- 本研究科の詳細については、ホームページ（<https://www.lsse.kyutech.ac.jp/>）を参照してください。
- 既納の入学検定料は、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。
 - ア 提出書類を郵送または持参により提出しなかった場合
 - イ 提出書類の不備により出願が受理されなかった場合
 - ウ 本学が指定する自然災害の被災者で、入学検定料免除の手続きを行った場合
 - エ 誤って二重に支払った場合

- (3) 受理した提出書類は、原則返却できません。
- (4) 提出書類に不備がある場合は、出願を受理できないことがあります。
- (5) 入学検定料を支払い、提出書類を郵送または持参した後は、原則提出書類の変更はできません。
- (6) 提出書類に虚偽の記載が認められた者は、合格発表後でも合格を取り消すことがあります。

10. 受験票について

2026年6月18日（木）10時以降に受験票をダウンロードできますので、インターネット出願登録サイトの「申込確認」ボタンから受験票をA4サイズで印刷して、当該受験票を試験当日に用意してください。本学から受験票を発送することはありませんので、注意してください。

なお、受験票の印刷手順は、インターネット出願登録サイト
(<https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html>) に掲載しているインターネット出願登録マニュアルを参照してください。

また、受験票は、入学手続き時まで保管してください。

11. 選抜方法及び合否判定方法・基準

適性審査書類及び出願書類に基づき面接試験（口頭試問を含む。）を実施し、合否を判定します。ただし、適性審査および出願書類に基づき、面接試験を免除することができます。面接試験を免除した者には、受験票の備考欄でその旨を通知します。なお、面接試験は複数名の面接員により、専門性、社会性、基礎学力の3項目を5段階で評価したうえで、本研究科での学修および研究推進能力が十分あると判定した者を合格とします。

12. 面接試験の日時・方法

(1) 日 時 2026年7月4日（土）、5日（日）のいずれかの生命体工学研究科が個別に指定する日時

※自然災害等不測の事態により、上記期日に本研究科が試験実施できない場合に備えて、以下を予備日とします。

（予備日）7月11日（土）、12日（日）

(2) 面接方法 Zoom (<https://zoom.us>) を用いて、個別に遠隔面接を行います。
Zoom待機室への集合日時、ミーティングID、パスワード、注意事項等は受験票を確認してください。不明な点があれば、生命体工学研究科事務課教務・入試係にお問い合わせください。

13. 受験上の注意事項

（1）受験環境の事前準備

当日までに余裕をもって受験環境の準備をしてください。

- ① 電子端末（デスクトップ、ノートPCまたはタブレット端末）を準備してください。
 - ・カメラ、マイク、スピーカー機能を使用できるもの、または付加したもの。
 - ・事前に最新版のZoom (<https://zoom.us>)をダウンロードし、ミーティングテストなどを利用して、オーディオ設定等を確認しておいてください。
- ② イヤホンまたはヘッドホンを準備してください。
- ③ ネットワーク回線を準備してください。
 - ・遠隔面接での通信時間は、待機時間を含めて最大40分程度です。
 - ・接続環境安定のため、できるだけ有線での接続を推奨します。なお、面接中に使用するデータ量が容量制限にかかるよう、あらかじめ契約内容を確認してください。
 - ・自分でネットワーク回線が準備できない場合や通信速度に不安がある場合は、現在のご所

属の大学・高専等に協力を依頼してください。

④ 面接場所の確保をしてください。

・面接場所は第三者が入室しない場所を用意してください。自宅でも差し支えありません。

・背景が映っても差支えがない場所を準備してください。

※ Zoom を用いた遠隔面接実験にあたっては、別途ホームページ掲載の「オンライン面接実験マニュアル」および受験票に記載されている QR コードもしくは URL から当日の手順・注意事項等を必ず確認してください。

(2) 遠隔面接における注意事項

① 適正かつ公平公正な試験実施のため、Zoom の録画録音機能を用いて面接の様子を録画します。録画した映像や音声は試験実施・合否判定以外の目的では一切使用いたしません。なお受験者による録画・録音等の試験内容を記録する行為は禁止します。

② 面接中に許可なく第三者と接触することや外部ツール (Zoom 連携アプリや生成 AI 等) を使用することを禁止します。

③ 面接中に不正の疑義(許可なく電子端末を操作したり文章を目で追ったりするような動作等)が確認された場合は、面接を一時中断し事実確認することがあります。

④ 面接中に不正行為と認められる動作が確認された場合、合格発表後でも合格を取り消すことがあります。

14. 合格者の発表

2026年7月14日(火)午前10時頃から、ホームページ (<https://www.kyutech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載します。

また、合格者には発表と同時に「合格通知書」等を郵送します。電話等による合否の問い合わせには応じられません。

※ 合格通知書等の人名漢字の表記について

氏名について、コンピュータで表記できない文字は、文字が置き換えられるか、カタカナ等で表記されますので、ご了承ください。

(例) 吉→吉, 廣→廣, 角→角

15. 入学手続

(1) 入学手続期間

2027年4月入学予定者については2027年3月上旬を予定しています。

(2) 入学時に要する経費

① 入学料 282,000円 (予定額)

[注] 外国人合格者のうち日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。

② 学生教育研究災害傷害保険 1,750円 (予定額)

④ 後援会費 10,000円 (予定額)

④ 外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険 26,190円 (予定額)

[注] 外国人留学生は全員加入が必要です。

※参考 授業料(入学後) 前期分 267,900円 (予定額)

(年額) 535,800円 (予定額)

[注] 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定期から新授業料が適用されます。

外国人合格者のうち日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。

16. 個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報および入学手続き時に提出していただく書類に記載されているすべての個人情報は、本学における次の業務に利用します。

- (1) 入学者選抜および入学手続きに関する業務。
- (2) 教務関係（学籍管理、修学指導および教育課程の改善等）に関する業務。
- (3) 学生支援関係（健康管理、入学料免除、授業料免除、入学料徴収猶予、奨学金及び就職支援等）に関する業務。
- (4) 入学者選抜および大学教育の改善に関する調査・研究に関する業務。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
- (5) その他、個人が特定できない形式で行う統計に関する業務。

※ 一部の業務については、本学より委託を受けた外部の業者において行うことがあります。

※ 取得した個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人九州工業大学個人情報の保護に関する規則」に基づき、適切に取り扱います。

17. 奨学金について

日本学生支援機構の奨学金については、第一種（無利子）及び第二種（有利子）があります。入学試験合格者には、郵送で募集の案内をします。なお、日本学生支援機構の他に、企業や地方公共団体などの奨学金があります。

生命体工学研究科2階端末室横の掲示板で案内しますので、各自ご確認ください。

18. 安全保障輸出管理について

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、下記のホームページを参照願います。

参考 <https://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html>

19. キャンパス全面禁煙について

九州工業大学では、学生並びに教職員の疾病予防、健康の維持・増進、さらには快適な学習・職場環境づくりを推進していくために、全キャンパスは2019年10月1日をもって全面禁煙となりました。

なお、詳細については、下記のホームページを参照願います。

参考 <https://www.kyutech.ac.jp/information/nonsmoking.html>

20. 留学生のための特別コースについて

以下のコースは留学生を対象にした英語で授業などを行う特別コースです。日本人学生が受講を希望する場合、入学後、主指導教員と相談のうえ、所定期間に履修申請をしてください。

- Global AAR Course
- Global Education in Green Energy, Green Environment, and Green Economy for Global Innovation Leaders Course
- Leading Southeast Asia Cooperative Program for the Development of Advanced Medical and Diagnostic Technologies Course

参考 https://www.lsse.kyutech.ac.jp/departments/special_courses.html

II 大学院博士前期課程アドミッション・ポリシー

九州工業大学大学院は、開学以来の理念である「技術に堪能なる士君子」の養成に基づき、高い専門性と深い学識を持ち、それらを活かして新時代を切り開く卓越した能力と豊かな創造性を備えた、高度技術者を育成します。

そのため、理工学系専門分野における高度技術者となるために、独創的な思考力、研究開発活動を行うための高度な知識および実践的な問題解決力の修得を目指す皆さんの入学を期待します。

本大学院では、次のような素養と能力をもつ人を求めます。

- (1) 技術者に必要な基礎学力と工学専門分野の知識を持ち、自然現象を科学的に理解している人
- (2) 人、社会および文化の多様性を理解している人
- (3) 工学・技術が社会で果たす役割を理解している人
- (4) 状況に応じて適切に説明できる能力、および英語をはじめとする外国語によるコミュニケーションの基本的能力を持っている人
- (5) 問題解決に必要な論理的思考力、分析力、説明能力を持っている人
- (6) 技術者としての倫理観と責任感を備え、社会に貢献する志を持っている人
- (7) 自己を律する自己管理をしており、自発的に活動する態度を身に附いている人
- (8) 他者と協調し、個人の能力も發揮しようとする態度を身に附いている人

これらの素養や態度をもつ皆さんを受け入れるため、入学者選抜においては、筆記試験、面接試験（口頭試験）、成績証明書等を基にした総合的な評価を実施します。

○生命体工学研究科

【技術者及び研究者としての養成目標】

本研究科は、人間・生物、環境、社会の機能や特性を理解し、工学または情報工学における複数の分野を融合して、人間親和型、環境調和型、社会支援型の技術を創出することのできる技術者及び研究者を養成します。さらに、個人と社会の多様な幸せを追求する価値観のもとで、社会と連携して社会的ニーズに応えることのできるグローバル人材の育成も目指しています。

【求める人材】

本研究科が入学者に期待することは、全学のアドミッション・ポリシーに加えて以下のとおりです。

- ・工学または情報工学を支える基礎学力を修得していること
- ・専門分野だけでなく融合分野にも興味を持っていること
- ・社会のニーズに応え、技術で社会に貢献する使命感を持っていること
- ・論理的思考に基づいて、他者と協働して活動できること
- ・グローバルな視点で物事を考えることができること

これらの素養をもつ皆さんを受け入れるため、以下の方針で各選抜を実施します。

推薦選抜

本選抜では、特に技術者に必要な基礎学力を持ち、分野横断的な広い視野で社会のニーズに応えることに強い興味と情熱を持つ優秀な人材を受け入れます。これらの素養を出願書類に基づく面接試験（口頭試問を含む）により評価します。

高等専門学校推薦選抜

本選抜では、特に技術者に必要な基礎学力を持ち、分野横断的な広い視野で社会のニーズに応えることに強い興味と情熱を持つ優秀な人材を受け入れます。これらの素養を適性審査書類及び出願書類

に基づく面接試験（口頭試問を含む）により評価します。

一般選抜

本選抜では、特に技術者に必要な基礎学力を持ち、外国語によるコミュニケーションのための基本的能力を修得している人材を受け入れます。基礎学力については筆答試験または口述試験、外国語によるコミュニケーションのための基本的能力については TOEIC または TOEFL のスコア、その他の素養については出願書類に基づく面接試験により評価します。

社会人特別選抜

本選抜では、社会人として在職のまま修学する意欲があり、特に分野横断的な広い視野を獲得して、より社会に貢献しようとする人材を受け入れます。これらの素養を出願書類に基づく面接試験（口頭試問を含む）により評価します。

外国人留学生特別選抜

本選抜では、特に技術者に必要な基礎学力を持ち、グローバルな視野を持って国際社会のニーズに応えようとする人材を受け入れます。これらの素養を出願書類に基づく面接試験（口頭試問を含む）により評価します。

Master's Program Admission Policy

Kyushu Institute of Technology Graduate Schools cultivate highly skilled engineers who possess advanced expertise and profound knowledge, and who utilize these to pioneer new frontiers with exceptional ability and rich creativity, based on its founding philosophy; “instilling a deep knowledge of science and engineering in high caliber students”.

Therefore, we welcome applicants who aim to acquire original thinking skills, advanced knowledge for research and development activities, and practical problem-solving abilities to become advanced engineers in the fields of science and engineering.

The Graduate Schools seek individuals with the following qualities and abilities:

- (1) Individuals with the fundamental academic skills required of engineers, as well as knowledge in specialized fields of engineering and a scientific understanding of natural phenomena
- (2) Individuals who understand the diversity of people, society, and culture
- (3) Individuals who understand the role of engineering and technology in society
- (4) Individuals possessing the ability to explain appropriately according to the situation, as well as basic communication skills in foreign languages, including English
- (5) Individuals with the logical thinking, analytical skills, and explanatory abilities necessary for problem-solving
- (6) Individuals possessing the ethics and sense of responsibility expected of engineers, along with the aspiration to contribute to society
- (7) Individuals who practice self-discipline and self-management, and who have an attitude of proactive engagement
- (8) Individuals who cooperate with others while also striving to demonstrate their individual abilities

The admission selection process will conduct a comprehensive evaluation based on written examinations, interviews (oral examinations), transcripts, and other documents in order to accept applicants possessing these qualities and attitudes.

○Graduate School of Life Science and Systems Engineering

【Educational Goals for Engineers and Researchers】

This graduate school cultivates engineers and researchers who understand the functions and characteristics of humans, living organisms, the environment, and society, and integrate multiple fields of engineering or information engineering, to create human-friendly, environmentally harmonious, and socially supportive technologies. Furthermore, guided by values that pursue diverse forms of happiness for individuals and society, we aim to develop global talent capable of collaborating with society to meet social needs.

【Desired Qualities in Applicants】

In addition to the university-wide admissions policy, this graduate school expects the following from applicants:

- Possession of fundamental academic skills for engineering or information engineering

- Interest not only in specialized fields but also in interdisciplinary areas
- A sense of mission to respond to societal needs and contribute to society through technology
- Ability to collaborate with others based on logical thinking
- Ability to think from a global perspective

We conduct each selection process according to the following policies in order to admit candidates who possess these qualities.

Admissions on Recommendation

This selection admits outstanding candidates who possess the fundamental academic skills particularly necessary for engineers, as well as a strong interest and passion for addressing societal needs from a broad, cross-disciplinary perspective. These qualities will be evaluated through an interview examination (including oral questioning) based on the application documents.

Admissions on Recommendation for Technical College Students

This selection admits outstanding candidates who possess the fundamental academic skills particularly necessary for engineers, as well as a strong interest and passion for addressing societal needs from a broad, cross-disciplinary perspective. These qualities will be evaluated through an interview examination (including oral questioning) based on the aptitude screening documents and the application documents.

Admissions for General Applicants

This selection admits candidates who possess the fundamental academic skills particularly necessary for engineers, as well as basic foreign language communication abilities. These fundamental academic skills will be evaluated through written or oral examinations. Basic foreign language communication abilities will be evaluated using TOEIC or TOEFL scores. Other qualities will be evaluated through an interview examination based on the application documents.

Special Admissions for Adult Students

This selection admits candidates with a strong desire to pursue studies while maintaining their employment, particularly those seeking to acquire a broad, cross-disciplinary perspective to contribute more to society. These qualities will be evaluated through an interview examination (including oral questioning) based on the application documents.

Special Admissions for International Students

This selection admits candidates who possess the fundamental academic skills particularly necessary for engineers, aiming to meet the needs of the international community with a global perspective. These qualities will be evaluated through an interview examination (including oral questioning) based on the application documents.

III カーロボ AI 連携大学院について

生命体工学研究科を含む、北九州学術研究都市にキャンパスを有する北九州市立大学および早稲田大学の3大学院、さらに戸畠キャンパスの工学府と飯塚キャンパスの情報工学府を加えた3研究科・2学府が連携大学院を開設しています。そこでは、今後ますます高度化・知能化が進む自動車・ロボット・人工知能（AI）に関わる高度専門人材育成のために、産学連携による実学のノウハウを活用した教育体系を整えています。募集定員は本研究科で20名程度、連携大学院担当教員により入学直後に書類審査・面接により選抜が行われます。通常の研究科・専攻での履修に付加されるコースです。

本連携大学院を履修する学生は、以下の選択必修科目を含めて、指定された単位互換科目の中から定められた単位数を修得します。さらに、以下の総合実習のいずれかを選択することが推奨されます。修了生には修了証を発行します。

主に夏休み期間中に開催される総合実習では、機械・制御・情報・電子の工学系の幅広い分野を専門とする学生が、博士課程学生から高専本科生（インターンシップ制度を利用）に至るまで幅広い年代の学生がチームを作り、家庭用サービスロボットやAIミニロボット、農業用ハウス環境制御に関する実習を行います。これにより、深い専門性に加えて幅広い見識を備えた「T字型人材」の養成を目指します。

選択必修科目

- ・ 自動車工学
- ・ 知能・ロボット工学概論
- ・ AIセミナー

総合実習

- ・ @ホームサービスロボット製作総合実習
- ・ 農業用ハウス環境制御総合実習
- ・ 農業用トラクター自動運転総合実習
- ・ AIミニロボット製作総合実習（北九州市立大学開催）
- ・ 自律移動ロボット制御総合実習（早稲田大学開催）
- ・ 半導体基礎講座・デバイス試作実習（F A I S開催）
- ・ BMI・ミニロボット製作総合実習（冬季開催）

詳細は連携大学院ホームページ（<https://jgs.kyutech.ac.jp/>）を参考にしてください。

- 正式名称：自動車・ロボットの高度化知能化に向けた専門人材育成連携大学院
- 沿革：
 - ・ 平成21年4月：「北九州学術研究都市連携大学院カーエレクトロニクスコース」を開設
 - ・ 平成25年4月：「インテリジェントカー・ロボティクスコース」を開設
 - ・ 平成29年4月：インテリジェントカー・ロボティクスコースに「AIサブコース」を併設
 - ・ 平成31年4月：両コース・AIサブコースを統合して、カーロボAI連携大学院として再編
- 対象者及び定員：九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学の各大学院に所属する博士前期課程の学生、60名程度。
- 3大学が、（公財）北九州産業学術推進機構（FAIS）と自動車・ロボット関連企業の協力を得て講座を企画（単位互換制度を活用）
- 関連企業技術者と少人数の履修生で構成される「オフサイトミーティング」による職業観の醸成

IV 長期履修制度について

1. 制度趣旨

学生が職業を有していること等により、学修時間の制約を受け、標準修業年限で履修が困難な場合、申請に基づき4年を限度として、計画的な履修を認めることができます。

計画的な履修を申請し、履修許可を受けた場合、許可された年限内であれば標準修業年数（2年）分の授業料で修了することができます。

2. 授業料の取り扱い

長期履修が許可された場合の授業料については原則として「定められた授業料の年額×標準修業年限（2年）÷ 長期履修を許可された年限」により算出された金額を、各年毎に支払うことになります。在学中に授業料の改定が行われた場合は、再計算され、改定時から新授業料が適用されます。

なお、長期履修許可期間終了後も引き続き2年間在籍は可能ですが、その場合は一般の学生と同額の授業料が徴収されます。

【参考：授業料徴収方法】

(1) 標準修業年限（2年）

| | 1年目 | 2年目 | — | 修了までに要する総額 |
|----|---------|---------|---|------------|
| 年額 | 535,800 | 535,800 | — | 1,071,600 |

(2) 入学時に長期履修（4年）を申請

| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 修了までに要する総額 |
|----|---------|---------|---------|---------|------------|
| 年額 | 267,900 | 267,900 | 267,900 | 267,900 | 1,071,600 |

(3) 入学時に長期履修（4年）を申請していた者が、1年次終了時に2年短縮した場合

| | 1年目 | 2年目 | — | 修了までに要する総額 |
|----|---------|------------|---|------------|
| 年額 | 267,900 | 535,800 | — | 1,071,600 |
| 差額 | 267,900 | ←変更許可時に徴収。 | | |

(注)上記の金額は令和7年度額につき、在学中を含め、今後変更される場合があります。

3. 履修期間について

長期履修期間は最大4年を限度として、下記のとおり「年」単位で取り扱います。

- (1) 入学当初からの申請 : 標準修業年限2年のところ、3年または4年での申請可
(2) 1年次終了時からの申請 : 長期履修前の期間を含め4年まで申請可

4. 長期履修期間の変更等について

相応の理由があると認められる場合、長期履修期間の変更（延長・短縮）ができ、下記のとおり取り扱われます。ただし、履修計画最終年次での申請・変更は出来ません。

短縮 : 9月修了希望の場合は前年度の2月末日までに、3月修了希望の場合は8月末日までに、申請し、許可を受け、差額の授業料を納めた上で、翌年次から短縮することができます。ただし、標準修業年限未満での短縮修了は認められません。

延長 : 延長を希望する年度の前年度の2月末日（10月入学者にあっては8月末日）までに、申請し、許可を受けることで、長期履修前の期間を含め最大4年までの延長が可能です。授業料は標準修業年数（2年）分の授業料となるよう、再計算されます。

5. 申請手続き

修業までの見通し等含め、履修計画等指導教員と相談の上「長期履修申請書」、「申請理由を証明するために必要と認められる書類」を生命体工学研究科事務課教務・入試係へ提出してください。「長期履修申請書」等の様式については、合格後に配付します。不明な点は、生命体工学研究科事務課教務・入試係までお問い合わせください。